

2 天竜川ダム再編事業

天竜川ダム再編事業は、利水専用の佐久間ダムを有効活用し、新たに洪水調節機能を確保して、天竜川中下流部の洪水氾濫から人々の暮らしを守ることを目的としており、令和13年度の完成を目指しています。

<洪水調節>

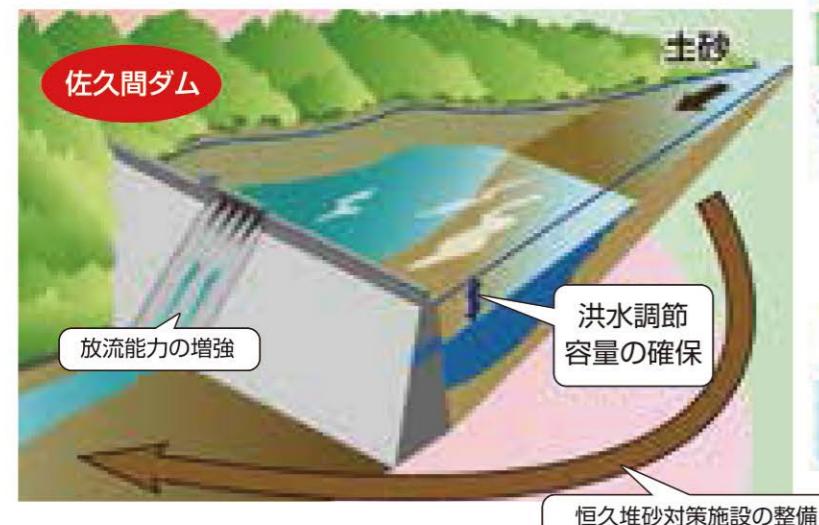
既設利水専用ダムである佐久間ダム貯水池の運用方法の変更を行うとともに、新たに設定する洪水時貯留準備水位(EL.255.0m)から洪水時最高水位(EL.262.2m)の間で新たに洪水調節容量5,400万m³を確保します。

<貯水池堆砂対策>

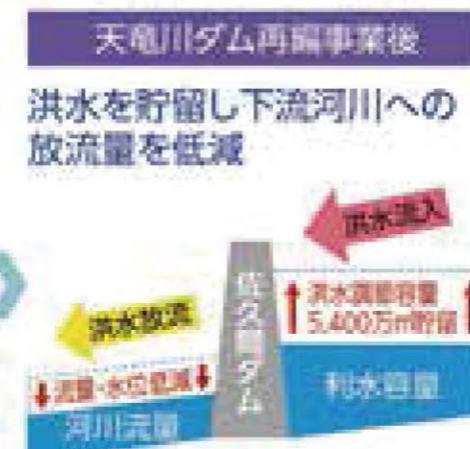
恒久堆砂対策施設の整備により、ダム貯水池に流入する土砂をダム下流へ流下させ、恒久的な洪水調節容量の維持を図るとともに、土砂移動の連続性の確保を図ります。



佐久間ダム 全景写真



天竜川ダム再編事業のイメージ



貯水池容量配分図

3 維持管理

●河川管理(菊川・天竜川)

堤防等は、沿川住民の生命と財産を守る重要な河川管理施設であることから、出水時や地震時にその機能が正常に発揮できるように、日頃から河川巡視や施設の点検、堤防除草、維持修繕を行うとともに、非常時の備えとして土砂や大型ブロック等の水防資材を備蓄しています。

平常時は貴重な社会資本である河川を良好な状態で住民の皆様に安心してご利用いただくため、関係機関と各種情報連絡体制の充実を図るとともに、河川占用や水利使用及び砂利採取等の申請に対して審査し、許可・調整しています。

また、ボランティアの皆さんとの協力のもと、河川美化に努めています。



堤防除草



クリーン作戦

●ダム管理(新豊根ダム)

新豊根ダムは、天竜川水系大千瀬川支川大入川に洪水調節と発電を目的として昭和48年に建設された、高さ116.5m、長さ311.0m、有効貯水容量40,400,000m³の多目的ダムです。その内、洪水調節容量10,500,000m³を利用して洪水被害を軽減させるため、洪水時の防災操作及びダム管理施設・貯水池の維持管理を行っています。



新豊根ダム